

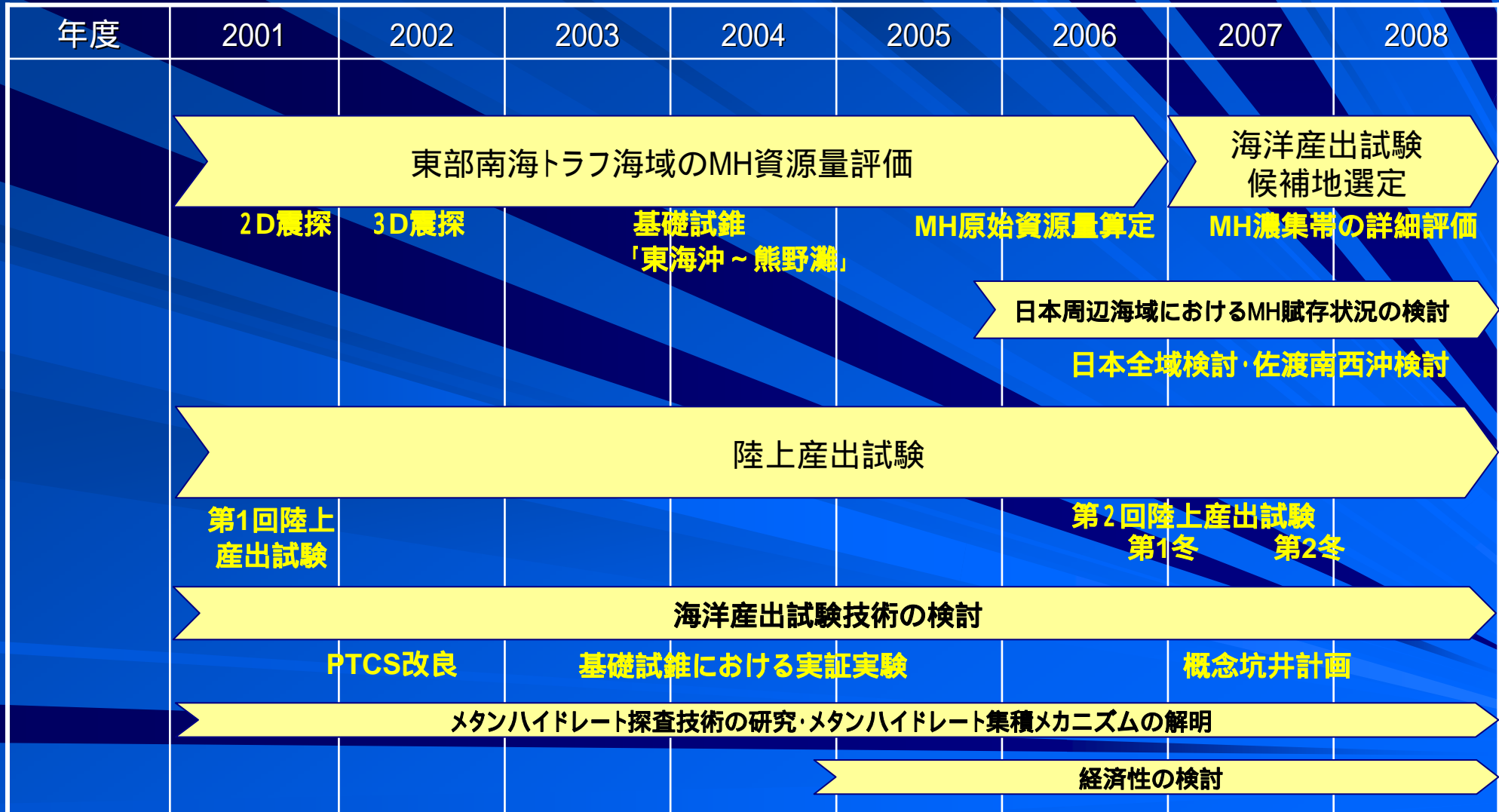
フェーズ1 総括成果報告 (ポスター紹介) 資源量評価分野

平成20年6月19日

メタンハイドレート資源開発研究コンソーシアム
資源量評価グループリーダー

大野 健二

資源量評価グループ:フェーズI研究実績



東部南海トラフ海域のMH資源量評価 → 海洋産出試験候補地選定

■ MH21におけるメタンハイドレート探査

- 基礎物理探査・基礎試錐からMH濃集帯の抽出まで - (佐伯・他)
東部南海トラフ海域におけるこれまでの調査と
メタンハイドレート濃集帯の抽出技術の確立について紹介

■ 東部南海トラフ海域の資源量評価 (藤井・他)

2007年3月に公表した東部南海トラフ海域における
メタンハイドレート原始資源量の算定について紹介

■ メタンハイドレート濃集帯の詳細地質モデルの作成から シミュレーションへ (藤井・他)

海洋産出試験候補地選定のためのメタンハイドレート濃集帯
内部の詳細な地質解釈と地質モデルの構築を紹介

日本周辺海域におけるMH賦存状況の検討

- 日本周辺海域のメタンハイドレート賦存状況(林・他)
東部南海トラフ海域の資源量評価で得られた新たな知見に基づく日本周辺海域のメタンハイドレート賦存状況の検討を紹介
- 佐渡南西沖のメタンハイドレート(長久保・佐伯)
三次元地震探査データが存在する佐渡南西沖における検討結果の紹介(東部南海トラフ海域と同様なメタンハイドレート濃集帯の存在示唆、海底面に露出するメタンハイドレートに関する知見)

陸上産出試験

- フェーズ1の陸上産出試験(沼澤・他)
カナダ陸上で実施した第1回陸上産出試験(2002年)と第2回陸産試験第1冬(2007年)と第2冬(2008年)の成果概要を紹介
- 第2回陸上産出試験 第2冬試験(沼澤・他)
第1冬試験の知見を踏まえた第2冬試験(2008年)における出砂等の対策と坑井設計および試験結果について紹介
- メタンハイドレート分解挙動モニタリングの研究(藤井・安田)
第2回陸上産出試験のための技術開発と取得データについて紹介
- メタンハイドレート層のジオメカニクス研究(山本)
安定的生産のための技術課題と事前検討、出砂対策、事後解析の結果を紹介

海洋産出試験技術の検討

■ メタンハイドレート層の掘削

- 基礎試錐「東海沖～熊野灘」での試みー (松澤・他)

基礎試錐における技術開発成果(実証実験)として

- ・ 圧力・温度保持コアサンプラー(PTCS)の改良とメタンハイドレートコアの高回収率での採取実績
- ・ ハイドレート層へのケーシングとセメンチングの実績
- ・ 海底面下300mでの100mの水平坑井掘削の成功

について紹介

■ メタンハイドレート海洋産出試験実施のための技術検討 (松澤・他)

海洋産出試験実施にむけての検討(要素技術に関する動向調査、技術課題抽出)とこれらに基づく概念坑井計画の立案を紹介

メタンハイドレート探査技術の研究・ メタンハイドレート集積メカニズムの解明

メタンハイドレート層に関する基礎研究として
地質学分野・物理探査分野における以下の取り組みを紹介

- メタンハイドレート層の岩石物理 (稲盛・佐伯)
- 多成分地震探査・海洋電磁探査の適用
 - 探査からモニタリングへ - (稲盛・佐伯・山根)
- メタンハイドレート集積メカニズムの解明
 - メタンハイドレートシステムの概念構築 -
(藤井・長久保・川崎・野口) 2枚組
- メタンハイドレート生成実験 (川崎)

経済性の検討(推進グループ)

- **メタンハイドレート資源開発の経済性検討(石田・他)**
メタンハイドレート開発可能性の見通しを得ること、および実現に必要な技術課題を抽出することを目的として実施した経済性検討を紹介
- **メタンハイドレート開発計画の概要(磯部)**
我が国におけるメタンハイドレート開発計画とメタンハイドレート資源開発研究コンソーシアムによる研究実施体制を紹介